

プロトコール名		1クールの日数	放射線治療
卵巣癌 ニラパリブ療法		28日	■なし □あり
投与日	薬品名(※赤字は抗がん薬)		
d1-28	1 ゼジューラ 200mg 1日1回 初回投与前の体重が77kg以上かつ血小板数が150,000/ μ L以上の成人では 1日1回 300mg		
コメント	初回投与前の体重が77kg以上かつ血小板数が150,000/ μ L以上の成人では1日1回300mgを経口投与する。 白金系抗悪性腫瘍剤感受性の相同組み換え修復欠損を有する再発卵巣癌に使用する際には腫瘍組織のHRD検査陽性であることを確認する。		

プロトコールに関する解説
<p>本療法は1.卵巣癌における初回化学療法で奏功が維持されている卵巣癌の維持療法、2.白金系抗悪性腫瘍剤感受性の再発卵巣癌における維持療法、3.白金系抗悪性腫瘍剤感受性の相同組換え修復欠損を有する再発卵巣癌に対して考慮されます。3.の場合は腫瘍を生検、相同修復欠損(DNAを修復する能力が低下していること)を確認する必要があります。</p> <p>骨髄抑制による白血球減少、血小板減少、貧血や悪心、便秘、下痢などの副作用がでることがあります。副作用が強い場合は、減量や休薬などの調整が必要になることがあります。</p>